

那覇国際高等学校

学校だより 第18号



新都心公園クリーン・グリーン・グレイシャス 美化清掃活動！



12月21日（日）、新都心公園にて年末美化清掃活動「クリーン・グリーン・グレイシャス（CGG）運動」が実施されました。本校から生徒・保護者・職員等、多数が参加し、飲み物の運搬や受付、美化清掃等に取り組み、地域の美化活動に貢献しました。

師走の茶会



12月10日に1階エントランスホールにて茶道部企画による「師走の茶会」が行われました。多くの職員・生徒が参加し、季節の道具やお菓子、そして一服のお茶を楽しみ、心温まるひとときを共有することができました。

クリスマス・ライブ！



1・2年生を対象とした今年度の「クリスマス・ライブ」が12月19日、体育館にて実施されました。バンドやダンス、一発芸など、多くのパフォーマンスがあり、会場は熱気に包まれました。那覇国際高校生としての意識の高揚と親睦を深める機会となりました。

今後の行事予定

- 1月
- 6日（火）3学期始業式 HR役員認証式
- 8日（木）1学年集会
- 10日（土）総合学力テスト（1・2年 必修）
- 14日（水）2学年集会
- 16日（金）共通テスト直前集会（3年）
国内研修出発式（2年）
共通テスト会場作成
- 17日（土）大学入学共通テスト（1日目）
- 18日（日）大学入学共通テスト（2日目）
- 19日（月）国内研修1日目（2年）
共通テスト自己採点（3年）

名言・名句

I have not failed.
I've just found 10,000 ways
that won't work.

私は失敗したことがない。
うまくいかない1万通りの
方法を発見しただけだ。



【解説】

これは蓄音機、白熱電球、電力供給システム、映画撮影機、アルカリ蓄電池などを発明し「史上最も多作な発明家」と呼ばれたアメリカ・オハイオ州生まれのトーマス・アルバ・エジソンの言葉である。

エジソンは生涯で300以上の企業を設立し、発明の商業化にも大きく貢献した。生涯で取得した特許数1,093件は驚異的な数である。

受験生へメッセージ

In mid-December, I visited Dazaifu Tenmangu Shrine in Fukuoka to pray for all of our third-year students to achieve their desired paths. Believe in everything you've accomplished so far and face the exams with confidence. All of you can grow right up to the very end. Wishing you success!

校長 仲宗根 勝

Dear Students, 共通テストは a challenge, but it's also an opportunity to show your growth. Stay calm, trust your preparation, and believe in yourself. Remember this quote: "Success is the sum of small efforts, repeated day in and day out." Whatever the result, your hard work will open new doors. Keep moving forward with confidence—you are stronger than you think. Good luck!

教頭 グレイ雅美

皆さんが積み重ねてきた努力は必ず将来につながります。これまで頑張ってきた自分を信じてください。体調を整え本番に臨んでください。心から応援しています!!

教頭 寺井 俊博

目の輝きが変わって来た2学期、夢に向かって努力する姿のかっこよさ、しっかり伝わっています。さあ最後の追い込みです。「苦手な分野」が強化POINT。一緒に乗り越えましょう。

進路主任 知念 真紀子

本番緊張するのは、これまでたくさん頑張ってきた証拠。そんな時にこの言葉『シカんだらまけ』ね。あなたの後押ししてくれます。絶対大丈夫。本番に強い那覇国生なら乗り越えられます！チバレ！

3学年主任 町田 宗毅

県英語弁論大会



チェスター
オリビア エリさん
（3年9組）

初めてスピーチの後に
行われる質疑応答を経
験し、スピーチは原稿
を覚えて話すだけでなく、
自分の考えとして深く
理解することが大切
だと気づきました。今後
もたくさんのコンテスト
に出てより上を目指し
たいです！

沖縄キリスト教学院大学主催「第37回高校生英語弁論大会」が12月13日に開催され、本校のチェスター オリビア エリさん（3年9組）が見事、2位に輝きました。本番直前まで入念に調整を重ね、緊張しながらも「I'm Olivia」というタイトルで、自分の名前に込められた平和へのメッセージと沖縄の現状を力強くスピーチすることができました。



合格体験記 17（法政大学理工学部 創生科学科 大学入学共通テスト利用選抜）

(1) この大学（学科）を選んだ理由

将来の夢である数学、理科の教員になる上で専門知識を学べる環境が揃っていると考えたからです。就職面でも強く、やりたい職業が変わっても臨機応変に対応できると考えたからです。

(2) 後輩へのアドバイス

部活は最後までやり切った方がよい。学校はできるだけ行った方がストレス発散できたりして心身の健康に良い。勉強のオンオフを明確にして、息抜きの時間を大切にすること。周りに流されずに自分に合った勉強法を貫きつつ、一緒に頑張る仲間を大切にしよう。勉強を楽しもう。

(3) その他

私の第1志望は横浜国立大学教育学部学校教育課程自然生活系教育コースであり、前期不合格であったため、この文章は不合格体験記と言っても過言ではありません。しかし、私は4月時点で偏差値が40であったにもかかわらず共通テスト本番では60を超え、得点も400点近く上げる事ができ、勉強を通して学習面や精神面で大きく成長する事ができたため、自分の経験を後輩に共有したいと考えてこの文章を書きました。勉強は量より質という言葉をよく聞きますが、私は質の良い勉強のやり方が明確に分からなかったため、とにかく量をやっているうちに要領も良くなっていると感じました。受験の最後は気持ちの勝負だと思うので、皆さんは自分に自信を持てるまで努力してほしいです。失敗しても良いので、やろうか迷ったことは全部挑戦してみてください。その方が悔いは残りません。応援しています！

本校25期生（令和7年3月卒業）男 性

